

各位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業改良普及センター

「麦作情報（第1号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「麦作情報（第1号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

この情報はホームページ

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00323270/index.html>

にも随時公開しています。

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R1 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R1 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R1 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R1 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R1 (hr)	平年比 (%)
11月	1	14.3	15.0	0.7	20.6	21.6	1.0	9.1	9.4	0.3	13.6	0.0	0%	25.5	38.2	150%
	2	13.6	13.4	-0.3	19.6	21.2	1.6	8.6	7.1	-1.5	14.3	0.0	0%	24.6	41.0	167%
	3	12.5	12.9	0.3	18.4	18.6	0.3	7.6	6.8	-0.8	12.5	10.0	80%	23.6	34.7	147%
	4	11.3	11.8	0.5	17.2	17.5	0.3	6.2	6.4	0.2	10.4	4.0	38%	23.8	26.5	111%
	5	10.3	13.5	3.2	16.2	19.7	3.5	5.2	7.6	2.4	10.4	11.0	106%	24.0	25.2	105%
	6	9.5	11.1	1.7	15.2	16.0	0.8	4.4	6.8	2.4	11.4	6.5	57%	23.0	30.4	132%
12月	1	8.5	9.4	0.8	14.2	13.8	-0.4	3.6	5.0	1.4	11.1	50.0	450%	21.6	18.4	85%
	2	7.7	6.8	-0.9	13.2	12.6	-0.6	2.9	2.1	-0.9	9.6	0.0	0%	20.5	23.5	115%
	3	7.0	8.1	1.1	12.3	14.7	2.4	2.4	2.1	-0.3	7.9	0.0	0%	20.0	32.7	164%
	4	6.4	10.9	4.4	11.7	14.5	2.8	1.8	7.1	5.3	7.2	22.5	313%	20.2	17.5	87%
	5	6.0	6.9	0.8	11.5	11.2	-0.3	1.3	2.5	1.1	6.6	22.5	341%	20.8	10.5	50%

平均気温は11月の2半旬と12月の2半旬を除いて平年より高く推移した。本年も暖冬傾向となっている。降水量は11月が平年より少なかったものの、12月1日に47mmのまとまった降雨がみられた。16日以降周期的に降雨が続いている。日照時間は11月～12月3半旬まで平年より多い131%だが、12月4半旬以降は平年より少ない69%となっている。

2. 麦類情報田の生育状況（調査日：小麦12月24日，大麦12月25日）

品 種	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	葉色 SPAD
シロガネコムギ	11.7	299	2.4	43.2
サチホゴールド	5.5	116	1.3	

（耕種概要）

品 種	設置場所	播種期	播種量	前作	栽培様式
シロガネコムギ	武雄市橘町	11月23日	10kg/10a	大豆	畦立て4条播き (畦幅1.52m)
サチホゴールド	白石町新明	11月30日	7kg/10a	大豆	畦立て8条播き (畦幅1.56m)

3. 生育概況

本年の播種期は降雨がみられましたが、全体的には少雨・乾燥となっています。11月中下旬に播種されたほ場は出芽や生育が早く進んでおり現在2～4葉期となっており、分げつの発生も見られます。12月に入ってから播種された圃場でも順調に出芽している。12月1日のまとまった降雨により、出芽が遅れた圃場が一部で見られたがその後の暖冬傾向で生育は取り戻しつつあり、現在2葉目が展開中となっています。また、小麦ではシロトビムシの被害が一部の圃場で見られました。

4. 今後の管理

(1) 施肥

追肥時期の目安は3～4葉期となります。

・11月中下旬播種

11月中下旬頃に播種された麦の追肥時期は12月下旬～1月上旬頃になると予想されますが生育を確認して施用して下さい。追肥量は基準量を施用して下さい。特に、11月20日ごろまでに播種されたほ場は現在追肥時期を迎えています。12月上中旬頃に播種された麦の追肥時期は1月中旬頃になると予想されます。

大豆跡の場合は暦を参考に減肥または追肥は施用しないでください。前作の大豆が生育不良の圃場では減肥程度とし、生育は確保されていたが冠水により莢が少なかった圃場では追肥を避けるなど生育に応じた施肥を心掛けて下さい。

(2) 麦踏み・土入れの実施

- ・麦踏みは3葉目から開始しましょう。必ず圃場が乾燥した状態（畦間が白乾している状態）で、行いましょう。
- ・土入れは5葉期から行い、初めは少量から行い生育に応じて土入れの量を増やして下さい。
- ・特に11月播種で葉齢が進んでいるほ場は、追肥を行った後は早めに土入れを実施して、過剰分げつの抑制、雑草防除および排水対策を行ってください。

(3) 排水対策

- ・根腐れや湿害防止のために、溝を枕部分まで通すなどして、排水溝の整備を入念に行いましょう。

(4) 雑草防除

本年は暖冬傾向で早播き圃場では雑草の発生が多くなります。土入れや除草剤での防除を行ってください。

＜カズノコグサ と スズメノテッポウ の識別法＞

- ・「根の色」で識別できます。

カズノコグサは「白色」で、

スズメノテッポウは「赤褐色」をしています。

- ・カズノコグサ対策は、まず圃場の乾田化を図ること。

播種直後処理剤とカズノコグサが1～3葉期までに

「ハーモニー75DF水和剤」との体系処理を行いましょう。

- ・**除草剤散布直前直後の「麦踏み」「土入れ」は逆効果となる場合あり！！**

「麦踏み」は、除草剤散布後に薬剤の影響で葉が黄色くなっている場合、麦へのダメージが大きいので控えましょう。また、除草剤散布直前に麦踏みをすると茎葉が痛み、薬害を生じる場合があります。

「土入れ」を、除草剤散布後すぐ行くと、雑草の蒸散作用が抑制され有効成分の根部吸収が妨げられるので控えましょう。（特にステージの進んだ雑草の場合は十分に間隔をあけてください）

